レッスン：PYR N0.14

テーマ：2つのエゴの気づき、そして…

PYR N0.14/KE04/11No.3

私の姉妹・兄弟たち、

スプリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンでは四面ピラミッドの各サイドはアークエンジェルのオーダーの監督下にあると言いました。純白のサイドはウリエルの監督下にあり、ウリエルは3つの他のエレメントを支配している他の3つのアークエンジェルによる仕事のコーディネーターでもあります。他の3つとは火、水、そしてエーテル/空気のエレメントです。そして4つめのエレメントは直接にオーダーの支配下にはありません。オーダーが創造したエレメンタルの監督下にあり、その4つめのエレメントとは大地、土です。

ウリエルは肉体のなかでアークエンジェルたちによって行われる仕事のコーディネート（調整）をしています。ですから肉体内では無数のアークエンジェルのモナド・セルフが働いています。

　説明したように私たちの努力とは、現在のパーソナリティーに付き添っているそれらのアークエンジェルたちの助けによってそれらのオーダーにアプローチする（＊働きかける）ことです。現在のパーソナリティーは一つのミカエル、１つのガブリエル、１つのラファエル、１つのウリエルによって付き添われ、さらにいわゆる守護大天使も付き添っています。

　ですからそのパーソナリティーがどこにいようとも常に５つのアークエンジェルが現在のパーソナリティーに付き添っており、パーソナリティーが一人ぼっちということは決してありません。それらのアークエンジェルたちは現在のパーソナリティーが４つのエレメントをマスターすることができるように…つまり現在のパーソナリティーが現在のパーソナリティーそれ自身をマスターすることができるように…絶えず現在のパーソナリティーを助けています。

　現在のパーソナリティーが現在のパーソナリティー自身をマスターするとはどういう意味でしょうか？私たちは内側に二元性があるでしょうか？答えはイエスです。それゆえに現在のパーソナリティーが現在のパーソナリティーそれ自身をマスターすると述べているのです。

　現在のパーソナリティーのどの部分がもう一つの部分をマスターするのでしょうか？レッスンで述べたように、現在のパーソナリティーは１つの中にいます。つまり１つのなかに二元性があります。最初は、完全に一致している２つのセンターがあります。そして現在のパーソナリティーはいわゆる本能意識的意識のセルフエピグノシスを現しています。

　つまり、このレベルにある現在のパーソナリティーはLifeの他の王国、特に動物界と異なっていないということになります。そのパーソナリティーには思考という神の贈り物があるにもかかわらず…なぜなら各現在のパーソナリティーはLifeのスパークを有しているからです。

　ですから、最初は１つのなかに二元性があり、勿論それは現在のパーソナリティーが潜在的可能性の１番目のサイクルにいる時です。そして徐々にゆっくりと多くの経験の結果として、それら２つのセンターが分離し、罪の意識（罪悪感）というものが現れてきます。

　ですから、２つの小さなエゴがあります。１つは現在のパーソナリティーを静止状態、限界ある現れ、つまり無知の中に止めておくものです。そしてもう一つは現在のパーソナリティーという影を創造するものに向かって移行しつつあります：なぜそれが起きるのでしょうか？なぜならば、影を創造したものに移行しつつある小さなエゴの中には、その中にLifeがあるからです。実際、影それ自体を創造したものがそこにはあるのです。今述べたことに注意してください。ですからLifeのスパークがその小さなエゴのなかにあります。ですから私たちには２つの小さなエゴがあり、それが現在のパーソナリティーの二元性です。

Page2

　私たちの実在に関して、この小さなエゴはある特定の場所に根ざしているのでしょうか？違います。それは私たちのなかのあらゆる所にいます。実際、エゴは両方とも私たちの体のあらゆるところにいます。そして体と言う時、それはサイコノエティカル体を意味します。それが現在のパーソナリティーの実際の体であり、特定の思考・行動の仕方を現わしている体です。ですから私のなかには二元性があります。

　さて、過去のレッスンで述べたように、すべてのアークエンジェルのオーダーは同じ姿、つまり同じ体の形をしており、違いは彼らの輝きの色です。そしてこの輝きの色が創造界で、そして私たちの体のなかで各オーダーが行うそれぞれの仕事を区別しています。もしその輝きがなければ、彼らは皆同じように見えることでしょう。

　ですから現在のパーソナリティーが四面ピラミッドのなかにいる間、私たちの周りには４つの同じ形の体があります。それらの各体はピラミッドの各サイドから来る光の輝きのなかに見ることができ、それは各アークエンジェルのオーダー全体です。なぜなら、１つのオーダーの１つのアークエンジェルを見るということは、それ全体を見ることだからです。ですから周囲にあるそれら全てのアークエンジェルは各オーダーを意味しています。モナドセルフとしての１つのアークエンジェルではなく、オーダー全体です。

　ですから、現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルは周囲のサイドのなかには見ることはありませんが、しかしそれらは私たちのそばにいて、時には私たちの内側にいて、それらが私たちから去ることは決してありません。彼らの目的とは私たちがオーダーとつながるのを助けることです。

　さて、正面の純白の輝きに面している時、現在のパーソナリティーはその特定のオーダーのアークエンジェルを意味するその形、フォームだけを見るのでしょうか？答えはノーです。現在のパーソナリティーはまたもう一つの像を見ます。それはオーダーを意味する形と同一の形をしています。しかし輝きは異なります。その輝きは元型である人間のイデアフォームを意味する輝きとまったく同じです。それは天上人の体と同一です。

　なぜでしょうか？なぜなら、ウリエルと共に現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークがそこに根付いているからです。なぜなら、それは私たちのなかにあるLifeのスパークであり、それが現在のパーソナリティーをそのLifeのスパークの方に引き寄せているのです。そしてそれはまた現在のパーソナリティー自身の罪の意識（罪悪感）を生み出すスパークなのです。

　言い換えれば、その中にLifeのスパークを有する小さなエゴは、この純白の輝きのなかに見いだすことができます。それは私たちの正面にあるサイドから来るのです。それは私たちから離れているのでしょうか？しかしLifeのスパークは私たちの内側にあります。ですから、なぜそれを目の前に見るのでしょうか？

　私たちは四面ピラミッドを創造します。ですから、それは私の内側にはありません。そうでしょうか？違います。実際、助けとして私たちが創造するものは全て私たちの内側にあるのです。何であれ、私たちが助けとして創造する３次元のものですら助けなのです。

　過去のレッスンで述べたように、法則にアプローチするためには３次元のシンボルを必要とします。なぜなら現在のパーソナリティーは３次元のなかにいるからです。それゆえに私たちはシンボルを創造するのです。しかし、実際に法則は私たちの中にあり、Lifeは私たちのなかにあり、Lifeのスパークは私たちの内側にあるのです。

　ですから、たとえ私たちが四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッドを創造しても、実際それらはすべて現在のパーソナリティーの中にあるのです。しかし、それにアプローチするためには、私たちには３次元のそれらのシンボルが必要なのです。実際にはシンボルは２次元ですが、現在のパーソナリティーは２次元を使ってそれらの法則にアプローチすることはできません。結局、４つのエレメントを持つためには、４つのサイド、４つのアプローチが必要なのです。２という数字を使用していかにして４という数字にアプローチできるでしょうか？これら全ては数学ですが；私たちはこのアプローチにはまったくタッチしません。

Page3

　ですから、私たちは正面にもう一つの体、もう一つの同一体、像を見ます。それは現在のパーソナリティーが自己実現した現在のパーソナリティーとなる時に、つまり潜在的可能性の全てのサイクルをマスターした後で使用するものです。

　ですから、Lifeそれ自体によって使用される体はすでに私たちの内側にあるのです。遠くにあるのではありません。なぜでしょうか？なぜなら私たちはLifeのスパークを有しているからです。そして覚えているかもしれませんが、Lifeがその本質を完全に表現するためには、その体を使用する必要があるのです。それについては前にレッスンのなかで述べました。それゆえに全てのアークエンジェルはその体を使用するのです；彼らはLifeの本質を完全に表現しています。勿論同じことは魂のセルフエピグノシスにも言えます。それらはその体を使っています。そしてまた自己実現した魂のセルフエピグノシスもその体を使用するようになるのです。

　現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、現在のパーソナリティーはもはやマインドの低い波動を必要としません。言い換えれば、サイコノエティカル体がその体（＊Lifeそれ自体によって使用される体）のなかに同化されるのです。なぜならサイコノエティカル体は完全に再形成されており、現在のパーソナリティーは二元性を去り、もはや思考、考えを現すことはないからです。思考は二元性の結果です；思考は同時に問いと答え以外の何ものでもありません。

　ですから現在のパーソナリティーは真の５つの感覚すらも背後に残して去り、同調を使い始めるのです。同調は実際、Lifeの本質のなかの質です…実存の諸世界においてLifeが完全にその本質を表現している時です。しかし、もしLifeが存在の諸世界において、魂のセルフエピグノシスの諸世界においてその本質を完全に現わすなら、その時には同調ですら３次元の背後に残し、同化を現わすことでしょう。しかし、それは実際、この惑星全体が自己実現するまでは起きないでしょう。

　それはいわゆる、モナドセルフがその“個別性”を失うことなしに、全てが全ての中にあるという状態です。なぜなら結局、それは現在のパーソナリティーが経験を通じて達成することだからです。そして現在のパーソナリティーがモナドセルフとしてのLifeに与えるものです。最初は魂のセルフエピグノシスとしてのLifeとなり、後には神のワンネスの多重性のなかでのスピリット・モナドセルフとなるのです。

　将来、天上人、元型としての人間のイデアフォームと同一体であるこの体を目の前に見ます。努力とはその体の中で現在のパーソナリティーの意識を活性化することです。転送すると言うこともできますが、実際にはそれは既にそこにあるので転送ということはありません。

　ですから、２つの小さなエゴを分離させるために活性化する必要があります。分離させる？完全に分離させるわけではありません。なぜならスパークの一部分をもう一つのなかに残すからです。ですから現在の状態を有する現在のパーソナリティー、つまり現在のパーソナリティーとしての思考・行動の仕方のレベルを現しているサイコノエティカル体と肉体が純白の輝きのなかにある体に転送されるのです。そして活性化され、純粋になります。なぜなら、その部分は天上人と完全に同一な体を通じて表現されるからです。そしてもし私たちがそのような体を使用するなら、Lifeは完全にその本質を表現していることになります。

　なぜ私たちがそうするのだと思いますか？ですから、現在のパーソナリティーがフォーカスされる2つのポジションを持つことになります。一つは肉体の中にいるもの、サイコノエティカル体でそれは四面ピラミッドの真ん中に立っています。そしてもう一つは、純白の輝きのなかに立っている体です。それは肉体を持つ現在のパーソナリティーの正面にある体です。

　なぜでしょうか？そうすることによって現在のパーソナリティーとしての自分自身をちゃんと見ることができるようになるためです。言い換えれば、自分の正しい点と間違っている点を認識するためです。私たちは真の内観ができるようになります。つまり私たちは自分の気づきの本当のレベル、自分自身の思考・行動のレベルを認識できるようになります。私たちの目の前にいる現在のパーソナリティーから役者としての衣服を徐々に、少しずつ脱ぎ取ることができるようになるのです。

　肉体のなかにいる時には正面には純白が、右には赤の輝き、後ろにはホワイトブルーの輝き、そして左にはウルトラバイオレットの輝きがあります。しかし、フォーカスする他のポジションから見ると、右少し前方にはウルトラバイオレットの輝き、左には赤の、そして正面には初めて自分自身のもう一つの部分を見るのです。それは現在のパーソナリティーの諸体（それはサイコノエティカル体ですが）を使い、そして肉体を使用している自分自身です。そしてその体の向こう側にはホワイトブルーの輝きが見えます。しかし、私たちが行う努力とは、思考・行動の仕方としての自分自身を「ジャッジ」することです。ジャッジすべき自分は､真の自分が立っている位置とホワイトブルーの輝きの間にいます。

Q：現在のパーソナリティーがアークエンジェルを見る、あるいは会う時、それはそのオーダー全体に会うのと同じようなことだと言いました。それなら、それらのアークエンジェルたちにとって、なぜ現在のパーソナリティーをそのオーダーに紹介する必要があるのですか？そしてあなたはあたかもそうする必要があるかのように言いましたね。

K：そうです。なぜなら、現在のパーソナリティーは実際にはアークエンジェルだからです。しかし、アークエンジェルとしての自分自身を現わしていません。ですから、Lifeそれ自身からもっともっと表現するように努力する必要があります。

Q：それでは現在のパーソナリティーをそのオーダーに紹介すると言う時、それはそのオーダーのメンバーになるということですか？

K：そうです、それはそのオーダーがプログラムされたセルフエピグノシスから割り当てられたことをもっともっと表現するということです。「人間のイデア」にはプログラムされたセルフエピグノシスはありません。そしてプログラムされたセルフエピグノシスではないことが、人間に自己実現の能力を与えているのです。そして私たちが自己実現に到達すると、自己実現した現在のパーソナリティーとしてLifeの本質を完全に表現するのです。つまり、アークエンジェル的状態をも完全に表現するのです。

　何であれアークエンジェルのオーダーが肉体の中で行っていることを、自己実現した現在のパーソナリティーもまた行うことができるのです。しかしまた、動物たちの身体を創造し、築く等のこともでき、また多重性という能力も有するようになります。

Q:現在のパーソナリティーに付きそっているアークエンジェルたち、さらに守護大天使は実際に永遠のアトムに、あるいは特定の現在のパーソナリティーに付き添うのですか？

K：それらは同じです；最初の転生から最後の転生までです。

PYR.14 エクササイズ　１

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を見ます…あなたの形の境界を感じ、同時に純白の五芒星の中で守られている自分を見ます…それでは小さな四面ピラミッドに状態を与えます…あなたは今四面ピラミッドの中に立っていて、正面の純白のサイドに面しています…あなたの右には赤の輝きが、後ろにはホワイトブルーの輝きが、そして左にはウルトラバイオレットの輝きがあります。…

　今正面の純白の輝きにフォーカスします…そしてこの輝きのなかにフォーカスする結果として、徐々に身体がそこに形成されているのを見ます…とても輝いているその体はさらに輝きを増していき、あまりに輝いているので色が白なのか銀色なのかわからないほどです…それは純白または銀色の光を放っている太陽のようです…それはまさにあなたの正面にある純白のサイドの真ん中にあります…

　そしてあなたの意識が純白の輝きの中にあるこの体を、この形を使い始めることを願います…あなたの意識の一部がこの体、このフォームを使い始めます…それはあなた自身からその体に向かって何かが移動していくかのようです…その動きを感じます…

　それでは徐々に2つのポジションから見ることができるようになります。ですからビジョンは1つの位置からだけでなく、2つの位置から来ます…あなたの肉体が立っている位置から、そしてあなたの肉体の正面にある純白のサイドの体からです…

　あなたは今2つの位置から見ています、しかし実際に異なったアングルから見ています…つまり周囲が異なった2つの仕方で見えます…肉体からは前と同じように見え、何も変わっていません…しかし純白のサイドの体から見ると、異なって見えます…あなたは自分自身をあるがままに見ます、そしてあなたの肉体があなたの前、少し離れた位置にあるのが見えます…

　このあなたのセルフを観察します、それがどのように振る舞っているか、あなたのセルフの現れの真のレベルはどうであるかを見ます。このポジションから見ると、あなたの現在のパーソナリティーがどのように毎日の人生と向き合っているかをはっきりと見ることができます。あなた自身について真の洞察を得ることができます…

　この位置から見ると、右にはウルトラバイオレットの輝きが、左には赤の輝きが、そしてあなたの肉体の向こうにはホワイトブルーの輝きがあります…四面ピラミッドの3つのサイドが見えます

　この努力が続くことを、あなたのこの体を使うことを願います…その体はとても輝いていて、純粋です。それによってあなたの現在のパーソナリティーを何度も繰り返し見ていきます。終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

これは簡単なエクササイズではありませんが、達成することができます。そしてそれを達成することができる理由は、何であれあなたの努力はあなたの内側にあり、外側にあるのではないからです。そして徐々にスパークそれ自体からの助けが得られるようになります。なぜなら、結局あなたが使おうとしている体はそのスパークの体だからです。そして勿論許可は与えられますが、お願いする必要があります。お願いしなければ与えられません。何度もお願いしてそれを得るのです。

　ですからこのエクササイズはとても重要です。しかし勿論、同時にこれまでのエクササイズも行う必要があります。

　過去のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーは180度回転するステートに来る必要があります。それは純白のサイドの代わりにホワイトブルーのサイドと向き合うということです。そしてこれが鍵を鍵穴に入れてドアーを開くための、初めてのオープニングです。

Q：アークエンジェルはどのように見えるのですか？

K：その特徴を見ることはありません。その体はとても輝いています、なぜなら結局それはLifeそれ自体だからです。それは太陽の光よりももっと輝いています。それは人間のイデアですが、創造界における全ての生命が有している形、フォームです。それがアークエンジェルのイデアを通じてであろうと、ドミニオンズのイデアを通じてであろうと、あるいはいかなるイデアを通じてであろうと。

Q：それはイエス・キリストが人間となった時の姿と関係がありますか？

K：ノー、それは肉体とは何の関係もありません。それはLifeがその本質を完全に現している時にLifeが使う体です。そしてもし私たちにこの体がなければ、Lifeの現れは境界、限界の中だけになるでしょう。

なぜなら、サイコノエティカル体がなければ、あなた方は肉体をもつことができず、これなしでは思考を使うこともできないからです。つまり再び二元性を現さねばなりません。

Ｑ：この中には二元性がありますか？

K：はい、思考はそれ以外のどこで再び現すことができるでしょうか？創造の意味は再び表現されますが、しかし自己実現した現在のパーソナリティーがそれを受け取っている体験は他人のためです。そして実際他人の痛みを背負うことができるのです。

　ですから、これが実際に起きていることです。そしてそのとき初めて地球上の全ての人間は自己実現に到達し、自己実現した惑星となるのです。そして自己実現した惑星となった時初めて転生のサイクルは必要なくなるのです。なぜなら、自己実現した全ての人間は神のブレーシス（＊意志）の結果として肉体を物質化することができるからです。Willではありません。なぜならwillは私たちがサイキカル体を使用している間のことだからです。そして過去のレッスンで述べたように、自己実現した惑星としてこの創造界で私たちにはやるべき他の仕事があるのです。他の惑星の人類たちを助けることです。他の太陽系、他の銀河において。そしてその奉仕の後、どのぐらいの期間かは誰もわかりません、それは時間という意味を超えていますが、その時初めて自己実現した惑星として存在の諸世界の中に入るのです。

Page6

　言い換えれば、太陽系はもはやいかなる目的にも奉仕しなくなり、それは非物質化されるでしょう。そして私たちは存在の諸世界に入り、魂のセルフエピグノシスに個別性、自己実現を与えるのです。そして自己実現した人間としてインナーセルフ・ソウルを有するようになるでしょう。魂のセルフエピグノシスの多数性からそのモナドセルフを分離させることが「できる」ようになるのです。なぜなら、自己実現に到達する前は、もしあなたが自己実現していない魂のセルフエピグノシスに会うとし、あなたがその魂に「あなたは誰ですか；あなたは何ですか？」と尋ねるとします。するとどのような答えが来るかわかりますか？ノー、その魂のセルフエピグノシスはモナドからの分離を認識しません。結局、創造界、創造界と現れはそのためにあるのです。私たちはこの動き、活動に参加している粒子なのです。

Q：四面ピラミッドのなかにいるパーソナリティーは創造のセルが上下逆さまであるという事実に関係しているのですか？

K：人間の理解によれば創造のセルは逆さまです。なぜなら、何であれ現在のパーソナリティーが上向きだと見なすものは下向きだからです。それゆえに私たちはまず最初に五芒星を正しい位置にする必要があるのです。つまり、地のエレメントのなかでこのエレメントに魅惑されている代わりに、このエレメントから抜けだして地の上に立つ必要があるのです。そして徐々に何が上向きで何が下向きであるかを認識するのです。それ故に私たちは真の感覚の影としての五感を使っているのです。

　私たちには人間のイデアフォームの元型を意味する五芒星のシンボルがあります、しかしまた、ポイントが上向きを指す時に5つの真の感覚を意味する五芒星があります。無知のステートではそれは下を指し示しています、つまり頭が地のエレメントにフォーカスしているということです。そしてまたこのシンボルは反対をも意味します、それは無知のシンボルです。このシンボルは光の反対である闇を意味するために使用されます。

Q：しかし、この行為を行うことによって、自動的にガブリエルに面するのですか？

K：そうです、そうすることによって。あなたは実際、ガブリエルのオーダーによってコントロールされているドアーを使う必要があるのです。あなたは五芒星を正しい位置にする必要があり、あなたがそうする時にはドアーを通り抜けることができるのです。そして何が上でなにが下かを知るのです。何が真の価値であり、何が真の価値でないかを知るのです。五芒星を適切なポジションに置くとき、それはあなたが地のなかではなく、地上を歩いていることを意味します。地のエレメントに囲まれている時は、どの方向にフォーカスしようともあなたは地のエレメントにフォーカスしているのです。

　すべき努力は現在のパーソナリティーそれ自身に向けられます。Lifeそれ自体の体から現在のパーソナリティーを見る時ではなくて。しかし、その体自身が向きを変え、そのポジションに留まる必要があるのです。

EREVNA PYR N0.14/KE04/11/NO3